



JR八幡駅前 広場 整備事業 (第2報)

《駅前広場面積》約9,300㎡

交通機能	※路線バス・タクシー・福祉車両乗降場には屋根を新設します。	
バス(路線バス)	乗車場2台/降車場2台/待機場3台	
タクシー	乗車場2台/降車場1台/待機場21台	
自家用車	乗車場4台/自動車整理場29台	
駐輪スペース	自転車108台/バイク45台	

施設の詳細設計等により変更が生じる場合があります。

昨年のハートフル通信でも事業の進捗をお知らせしましたが、あらためて現在の進捗状況をお伝えします。本市の主要駅のひとつであるJR八幡駅の駅前広場は、整備から30年が経過し、施設の老朽化が進むとともに、一部で自動車と歩行者の動線が錯綜するなどの課題が生じていました。そこで、平成27年度から自動車、歩行者の動線を改善するなど、分かり易く使い勝手の良い安全な駅前広場にする事業に着手しています。交通結節点としての機能強化を図るとともに、まちの玄関口としてふさわしい空間形成を目指しています。

八幡駅前から皿倉山を望む眺望は区内でも有数の景観であり、八幡東区の玄関口として更に便利で快適な街づくりをすすめて住みやすさ暮らしやすさを追求して参ります。※八幡駅前整備事業の完成予定は令和元年度末 明年3月末となっています。



全長18m128人乗り!

北九州地区にも、ついに 連節バス(BRT)運行開始!!



西鉄バス北九州(株)は本年7月22日(月)より小倉～黒崎間、小倉～戸畑間において、連節バスの運行を開始しました。同社は北九州市と協働で、人口減少・超高齢化社会に対応した持続可能な公共交通ネットワークの再構築を図るとしています。運行台数は2台で、小倉黒崎間を1日7往復しています。将来的には合計10台の連節バスを導入予定と聞いています。私も小倉に向かう際、何度か乗せていただきましたが、128人乗りと格段に大きく、余裕をもって着席することが出来ました。車体デザインも江戸時代初期・豊前小倉藩で織られた「小倉織」をモチーフとしており、北九州の文化や伝統を身近に感じられ地元からも好評だと伺っています。小倉黒崎線の平日運行は午前便3便午後便4便となっています。

乗り心地抜群(メルセデスベンツ製)の連節バスに乗っていただき、あらためて今後の交通ネットワークも少し、みんなで考えてみる機会にされてはと思います。

市政相談 いつでもどなたでもお越しく下さい

議員活動をはじめさせていただいてから11年目を迎えました。この間、多くの市民の皆さまから市政相談をいただいております。その件数も3000件をこえておりほぼ毎日の様に大小様々な課題やお悩みを伺っております。もちろん解決出来た事もあります。出来ていない事も多数あります。特に災害時における民間や個人の所有物に関する交渉時には頭を悩ませております。老朽空き家対策なども現行制度では簡単には解決に至りません。超高齢社会を迎えている今だからこそ、政治による課題解決を更に大きく前進させるべきと考えます。若い方々にも政治や行政に目を向けていただき街づくりや人づくりに積極的に関わっていただきたいと切に願います。

プロフィール	生年月日 昭和31年8月21日 八幡東区生まれ	職 歴	福岡県済生会八幡総合病院勤務(診療放射線技師) 平成21年 北九州市議会議員 初当選 平成25年 北九州市議会議員 2期目当選 平成29年 北九州市議会議員 3期目当選
学 歴	北九州市立大蔵小学校卒業 北九州市立大蔵中学校卒業 福岡県立北九州高校卒業 川崎医療短期大学放射線技術科卒業	所 属	経済港湾委員会委員、保健病院委員長(平成25、26年)、八幡東区議員懇話会会長(平成29年)、議会運営委員会委員(平成30年)、国民民主党福岡県連幹事長(拜命)令和元年6月

白石かずひろ事務所 〒805-0061 北九州市八幡東区西本町二丁目9-5
TEL.093-681-6128 FAX.093-681-6138
e-mail k-sris@hop.ocn.ne.jp URL http://www.shiraishi-k.com

●この市政レポートは、市議会各会派に交付される政務活動費を用いて作成しています。
●重複して送付されたり、宛名変更などがある場合は、お手数ですが白石かずひろ事務所までご一報ください。

白石かずひろ 11/30 市政報告会開催のお知らせ

[午前の部] 11:00~ 枝光北市民センター 八幡東区枝光2-8-5
[午後の部] 13:30~ 大蔵市民センター 八幡東区大蔵2-1-40



北九州市議会議員 八幡東区

白石かずひろのハートフル通信

No.41 秋号

[発行日] 令和元年10月 [発行人・編集人] 白石一裕

2019

春の町ランプ完成に向け工事急ピッチ (国道3号黒崎バイパス) ~旧八幡病院土壌汚染状況調査へ~

暑かった夏もようやく一段落し過ごしやすい季節を迎えました。皆様にはお変わりなくお過ごしのことと拝察致します。

北九州市議会は9月議会が9月3日から10月2日まで(30日間)開かれ、平成30年度決算や令和元年度の補正予算などが審議されました。主な補正予算事業は以下の様になっています。

私も9月議会でも一般質問させて頂き、「国道3号黒崎バイパスの進捗」と「とびうめネット連携事業」について当局の見解を伺いました。1点目の国道3号黒崎バイパス春の町ランプの工事は、いよいよ10月よりJR八幡駅をまたぐ最大の山場を迎えます。長年にわたる工事となっている事業ですが、いよいよ完成が見込める状況が近づいてきました。スペースワールド跡地利用の方向性は未だに発表されていませんが、バイパスの開通が東田地区の新たなまちづくりにも寄与するものと強く期待しています。また、補正予算では旧八幡病院跡地の土壌汚染調査費が計上され、跡地利用に向けた第一歩が踏み出されます。旧八幡病院跡地の利活用も今後の八幡駅周辺開発に係る重要な案件と捉え、引き続き積極的に提案もしていきたいと考えています。一方、八幡東区全体を見ると斜面地における住宅問題や交通インフラの整備、老朽化した八幡東区役所の建て替えや中央町地区の再整備問題など早期に取り組みを開始しな

八幡病院の跡地の土壌汚染調査が開始。跡地利用に向け第一歩。



令和元年9月議会一般質問

ければならない課題が山積しています。一つひとつの課題に速やかに、積極的に解決に向けて取り組んで参ります。

令和元年度9月補正予算 総額14億8,422万円

●一般会計補正予算案 5億2,886万円

主な補正予算事業

- 宿泊税導入準備事業 8,000万円
令和2年度から「宿泊税」を賦課徴収するために必要となるシステム構築、宿泊事業者への説明、周知等に要する経費
- 交通安全施設等緊急対策事業 6,800万円
5月8日に発生した大津市での事故を受け、緊急的に実施した調査にて抽出された危険箇所における、防護柵や車止めなど交通安全施設等の緊急整備に要する経費。
- 旧八幡病院土壌汚染状況調査実施事業 2,000万円
旧八幡病院に迅速な跡利用の検討に必要な土壌汚染状況調査に要する経費(病院事業会計への繰出金)
- 市道北方1号線街路樹倒壊事故による損害賠償 2,072万円
平成30年5月3日に発生した街路樹の倒壊に伴う被害者への賠償金支払いに要する経費
- 街路事業 (債務負担行為 7億円) (汐井町牧山海岸線)
汐井町牧山海岸線の整備において、着工後に判明した事由により、事業費が増額となったことによる債務負担行為の設定。



令和元年9月議会第二質問

9月議会質問及び答弁

令和元年9月議会の質問および答弁をご報告いたします。

質問 「黒崎バイパス」の事業進捗について

● 町ランプでJR等をまたぐ橋梁工事で国道3号改良工事などが行われる予定です。特に春の町ランプは黒崎バイパスと国道3号を繋ぐ重要な結節点で、東田地区からの車の出入りにより、朝夕の渋滞やそれに伴う交通事故なども発生しており一日も早い完成を期待しています。膨大な予算を伴うことから完成までの時間を要することは一定の理解をしますが、今後のスケジュールや事業費の試算などについて伺います。

国道3号黒崎バイパスは延長5.8kmの自動車専用道路で国土交通省九州地方整備局が主体となり整備している事業ですが、平成3年の事業着手から間もなく29年を迎えます。令和元年度は春の

市長 答弁

● 国の事業計画によると、全体の事業費約840億円のうち、今年度までに約786億円が予算措置され、事業費ベースで9割以上進捗しており、残る事業費は約54億円です。今後のスケジュールですが、春の町ランプについては、本年10月から11月にかけてJRと都市高速を跨ぐ、橋梁架設工事を行い、その後、国道3号上での橋梁工事が進められるとのことですが、完成時期は明示されていない状況です。春の町ランプの工事に伴う通行規制は、その場合や期間によって、車両の通行規制は、その場所や期間によって、車両の通行や施設の入出等に大きく影響すると認識しています。そのため、周辺への影響を最小限に留めるよう、国と市で協議を重ね、工事を進めています。黒崎バイパス全線の完成は地元・市民・企業の長年の願いです。市が行う国への提案活動では、最重点項目の1つに位置づけております。市議会をはじめ、地元自治会や沿線の企業等で組織する黒崎バイパス建設促進期成会でも、毎年、国への要望活動を行い、早期完成と供用開始時期の明示を強く訴えています。今後も官民一体となって、国に対し早期完成を働きかけ、地元や関係者との調整に積極的に協力する等、黒崎バイパスの早期完成に向けて全力で取り組んでまいります。



春の町ランプの完成イメージ図



質問 北九州「とびうめネット」連携事業について

● いる薬などの医療情報を事前に登録しておくことで、体調を崩すなどの緊急時に迅速で適正な医療を支援する情報ネットワークです。北九州市も121の医療機関が登録をしています。今回この仕組みを利用して「北九州とびうめネット連携事業」として、同意を得た市民の医療・介護情報を医療機関で共有する事業を検討しています。県医師会や本市として、現状の事業の課題や今後の目標をどのように認識しているのか伺います。また登録者や家族にとっては情報管理の安全性や、本人同意得る際の理解度などの不安や課題も考えられるが事業の周知をどのように行っていくのか伺います。

福岡県医師会が運用する診療情報ネットワーク「とびうめネット」とは、安心・安全な地域医療を支援するために、かかりつけ医を通じて、症状や検査結果、病歴や服用して

局長 答弁

● 福岡県医師会が運用する診療情報ネットワーク「とびうめネット」は病院、診療所が患者の病名や薬等の診療情報を共有するシステムですが、これまでは事業説明や同意の取得、情報入力など、かかる全ての負担を主にかかりつけ医が担っていることが課題でした。こうした現状を改善するため、「北九州とびうめネット連携事業」では、市民への事業内容の説明や同意の取得を、かかりつけ医に加えケアマネジャー、区役所など、医療・介護関係者が協力して幅広く行うとともに、情報を入力する業務についても、県国保連合会が管理する医療・介護情報を自動的に、とびうめネットに反映するようなシステムとすることにしています。多くの方に登録いただき、また医療機関の参画を促すことで、例えば、患者が意識不明の状態でも医療機関に搬送された場合や、入院前の生活状況や利用していた介護サービスなどがわからない場合でもとびうめネットによって、24時間患者の病名や薬の情報がわかり、適切な治療につながるなど本人や家族に切れ目のない医療・介護サービスが提供されることを目標としています。情報管理につきましては厚生労働省のガイドラインに沿ったかたちで専用の回線を使うことでセキュリティを構築している状況です。また、この事業を行うにあたりましては、昨年から関係者に説明し、アンケートも行っており、約9割の方が「有効である」と回答をいただいているところです。また医療関係者や介護関係者からも期待が大きいと聞いています。このシステムを広く呼び掛けて活用されるように頑張っていきたいと考えています。

北九州市区域区分見直し基本方針について

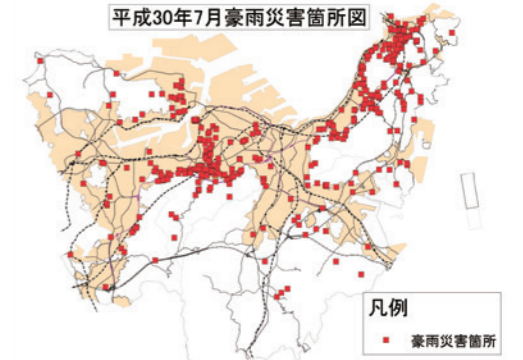
昨年7月に発生した集中豪雨により、本市にも甚大な被害が発生しました。特に斜面地における、がけ崩れなどの土砂災害が多数にのぼり、深刻な事態に至りました。門司区では2名の方が犠牲になり尊い命が失われたこともあり、改めて今後の災害に対しあらゆる手立てを講じて防災に努めることの必要性を再確認しました。

市では、今後の人口減少等を見据えコンパクトなまちづくりを進めています。特に斜面地住宅地では、空き地・空き家が多く発生し、地域コミュニティの維持などの課題もありました。これに防災の視点も加え、より安全で、安心な地域での居住に対応する必要があると考え、昨年12月、市街化区域と市街化調整区域の区分見直しの検討に着手しました。現在、基本方針の素案に基づき市街化区域や市街化調整区域の線引き見直しの作業を開始しています。対象となる区は門司区、若松区、八幡東区となっています。

このことについては、今後の急速な人口減少対策や空き家の発生による地域コミュニティの維持や環境衛生上の課題も指摘されています。また市街化調整区域に編入されると土地の資産価値が低下するのではないかと懸念もあります。

● 今後は対象地域の選定がなされ、地域ごとに市からの説明や協議の場がもたれることとなり、合意に至った地域から順次区分の変更、いわゆる市街化区域から市街化調整区域へ逆線引きがおこなわれることとなります。

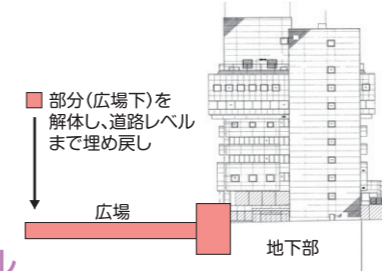
● 基本的な編入の考え方は対象地域で概ね30年後を目途にゆるやかに無居住化及び更地化(緑地化)するとしています。対象地域の住民にとっては、生活に関わる大きな見直しであり、今後も丁寧な説明のもとでの事業の推進を求めています。



凡例
● 豪雨災害箇所

レインボー広場の再整備について

以前にもお伝えしましたが、中央町にあるレインボープラザの広場は、広場下の地下部分の天井材の一部崩落により3年前からイベントなどで使用出来なくなっています。今回、広場の再整備を行うにあたり、広場下の地下部分を解体して埋め戻す工事や表面舗装工事等を行い、再びイベントなどを行えるよう広場の整備を実施する予定です。地域活性化につながる再整備であり、今後も全力で取り組んで参ります。



事業スケジュール

令和元年10月	レインボー広場地下部分解体
令和元年11月～	仮設工事(仮囲いを設置)
令和2年1月～	埋め戻し工事
令和2年7月末	工事完了(予定)

国道3号黒崎バイパス春の町ランプについて



完成がもたれる黒崎バイパス春の町ランプ

● 本会議質問でも取り上げました「春の町ランプ」ですが、いよいよ10月からJR八幡駅横の線路をまたぐ大工事が始まります。部材もすでに運び込まれており期待感が高まります。供用開始についての質問に対する市長からの答弁では、整備の進捗状況など国土交通省からの情報をお答えいただいたと承知していますが、残予算などからみて3年を目途に開通するのではないかと考えています。スペースワールド跡地開発の方針も現在は発表されていませんが、東田地域は新科学館の建設も予定されており、にぎわい創出にもつながる大切な事業と考えています。



ポテトのひとりごと

こんにちはポテトです。朝晩はもうすっかり秋の風ですね！食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、皆さんはどんな秋を過ごしていますか？我家は茶太郎が来てから毎日が運動会です。障害物競争をしては障害物をポロポロにし、ミロとのかけっこでは負けそうになるとミロに飛びかかり、最後は騎馬戦になりやられています(苦笑) 父さんの事件といえば、先日友人の息子さんの結婚式に出席した時のことです。乾杯の挨拶で新郎新婦に一言!!「一番近くにいるからお互いにお互いの事を一番わかっていると思ってはいけません。夫婦は会話大切!!」なんて言ったものだから、目の前に座っていた母さんは超～驚いたとか??最近、走り回る茶太郎を捕まえて母さんに話しかけているところを見ると、母さんに何か言われたことは間違いありませんね(笑) 父さん、ポテトのにゃ～(ご飯)はわかってくれるから大丈夫だよ。

